

I 目的・概要

- 1 目的 男女共同参画に関する意識の変化を把握し、プランや今後の男女共同参画施策の基礎資料とする
- 2 調査周期 5年に一度（※前回調査は平成27年度）
- 3 調査地域 石川県全域
- 4 対象 18歳以上の男女 2,500人
- 5 調査の大項目 ①男女の地位の平等 ②家庭生活等 ③職業 ④女性の社会参画 ⑤DV等 ⑥男女共同参画社会の実現に向けて

II 調査項目の基本的考え方

- 1 経年比較を行うものについては、前回同様の調査項目とする
- 2 国の基本計画の方向性を踏まえながら、調査項目の一部追加、修正、廃止などの見直しを行う

国の第5次男女共同参画基本計画の方向性（想定）

- **あらゆる分野における女性の活躍**
 - ・政策・方針決定過程への女性の参画拡大
 - ・雇用等における男女共同参画の推進と仕事と生活の調和 など
- **安全・安心な暮らしの実現**
 - ・女性に対するあらゆる暴力の根絶 など
- **男女共同参画社会の実現に向けた基盤の構築**
 - ・男女共同参画の視点に立った防災・復興体制の確立 など

III 県民意識調査 大項目別 調査項目（案）

※朱書きは新規追加項目

①男女の地位の平等

- ・男女の地位の平等感

②家庭生活等

- ・家庭における役割
- ・「男は仕事、女は家庭」という考え方
- ・**男性が家事・育児を行うことへのイメージ**
- ・**男性が仕事以外の生活も重視した働き方をする事について**
- ・男性が家事・子育て等に参加するために必要なこと
- ・子どもの教育方針
- ・**育児、介護を配偶者とどのように分担したいか**

③職業

- ・職場の男女平等
- ・女性が管理職に昇進することについて
- ・管理職に昇進することのイメージ
- ・女性リーダーを増やすときの障害
- ・女性が働き続ける上での障害
- ・女性の再就職に必要なこと
- ・男女が仕事と家庭を両立するために必要なこと

④女性の社会参画

- ・**政治・経済・地域の各分野で女性のリーダーが増えたときの影響**
- ・**女性が地域のリーダーになるために必要なこと**

⑤ドメスティック・バイオレンス等

- ・配偶者からの暴力と認識される行為
- ・配偶者からの暴力の被害経験の有無、相談経験の有無、相談しなかった理由
- ・交際相手からの暴力の被害経験の有無、相談経験の有無、相談しなかった理由
- ・**性暴力被害について**
- ・相談機関の周知状況
- ・暴力をなくすために必要なこと

⑥男女共同参画社会の実現に向けて

- ・用語の周知度
- ・男女共同参画社会実現のために必要なこと
- ・男女共同参画社会実現のため行政に望むこと

【今後のスケジュール（案）】

2020年5月 意識調査実施 / ~8月 データ集計・分析 / 10月 調査結果公表